



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社エアークローゼット 上場取引所 東
コード番号 9557 URL <https://corp.air-closet.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 天沼 聡
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 森本 奈央人 TEL 03-6452-8654
半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	2,424	20.6	124	298.0	114	394.2	114	398.7
2024年6月期中間期	2,009	11.9	31	-	23	-	22	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	13.98	13.89
2024年6月期中間期	2.80	2.78

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	2,735	629	629	510	22.7
2024年6月期	2,710	510	510	510	18.6

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 620百万円 2024年6月期 505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年6月期	-	0.00	-	-	-
2025年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,818	14.3	32	-	12	-	10	-	1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年6月期中間期	8,201,000株	2024年6月期	8,199,400株
2025年6月期中間期	一株	2024年6月期	一株
2025年6月期中間期	8,199,530株	2024年6月期中間期	8,198,278株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年2月14日（金）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(中間貸借対照表に関する注記)	8
(中間損益計算書に関する注記)	8
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

2023年10月には当該物流プラットフォームを活用した都度課金型の新しい取り組みである「Disney FASHION CLOSET」を、2024年11月には同様に都度課金型で結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」をスタートしており、認知拡大に努めています。

また、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおける受託が2件、店頭試着等でわずかに汚れや傷が付いた傷物商品等の再商品化業務を2件受託しております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当中間会計期間においては、脱コロナによる人流の増加、経済活動の正常化が進む一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。また、ファッション業界では記録的な猛暑や長引く残暑といった天候要因が消費動向に影響を与える期間となりました。

このような状況の中、主力であるairClosetサービスにおいては前期から続く継続率の改善等により、安定した会員数の伸びを実現しております。収益性の改善も順調に進み、ベトナムにおけるシステム開発子会社の稼働開始、倉庫の拡張移転対応などの成長加速に向けた投資も行いながら、営業利益の改善を図っております。

これらの結果、当中間会計期間の業績は、売上高2,424,155千円（前年同期比20.6%増）、EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費＋レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）527,980千円（前年同期比32.1%増）、営業利益124,279千円（前年同期比298.0%増）、経常利益114,944千円（前年同期比394.2%増）、中間純利益114,659千円（前年同期比398.7%増）となりました。

なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は1,563,052千円となり、前事業年度末に比べ347,210千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少372,675千円によるものであります。固定資産は1,172,030千円となり、前事業年度末に比べ371,805千円増加しました。これは主に、レンタル用資産の増加182,945千円および建設仮勘定の増加172,545千円によります。

この結果、総資産は2,735,083千円となり、前事業年度末に比べ24,595千円増加しました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は1,518,928千円となり、前事業年度末に比べ305,381千円増加しました。これは主に、借入返済により短期借入金が122,322千円減少したことおよび長期借入金からの振り替えにより一年内返済長期借入金が400,000千円増加したことによります。固定負債は586,744千円となり、前事業年度末に比べ400,036千円減少しました。

この結果、負債合計は2,105,673千円となり、前事業年度末に比べ94,654千円減少しました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は629,410千円となり、前事業年度末に比べ119,250千円増加しました。これは、中間純利益計上による利益剰余金の増加114,659千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は22.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より372,675千円減少し、1,081,850千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは530,138千円の収入（前年同期は379,576千円の収入）となりました。これは主に、税引前中間純利益114,944千円及び減価償却費241,208千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は780,742千円（前年同期は489,970千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出751,209千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は122,071千円（前年同期は58,578千円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純減額122,322千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年8月14日に「2024年6月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,526	1,081,850
売掛金	365,462	365,633
商品	17,785	34,558
貯蔵品	13,046	9,425
前払費用	39,255	46,795
その他	25,162	30,001
貸倒引当金	△4,975	△5,212
流動資産合計	1,910,263	1,563,052
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	542,030	724,976
機械装置（純額）	57,651	52,011
建設仮勘定	-	172,545
工具、器具及び備品（純額）	8,185	8,474
その他（純額）	4,344	4,163
有形固定資産合計	612,212	962,172
無形固定資産		
ソフトウェア	766	479
無形固定資産合計	766	479
投資その他の資産		
敷金	157,245	149,845
関係会社株式	-	28,533
その他	30,000	31,000
投資その他の資産合計	187,245	209,379
固定資産合計	800,224	1,172,030
資産合計	2,710,487	2,735,083

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,367	193,268
短期借入金	※ 417,322	※ 295,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	600,000
未払金	148,216	131,018
未払費用	22,486	13,453
未払法人税等	530	265
前受金	190,433	222,835
預り金	31,894	28,986
契約負債	20,111	15,830
その他	46,183	18,271
流動負債合計	1,213,546	1,518,928
固定負債		
長期借入金	960,000	560,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	6,076	6,039
固定負債合計	986,781	586,744
負債合計	2,200,327	2,105,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,251	50,376
資本剰余金	862,232	862,358
利益剰余金	△407,387	△292,727
株主資本合計	505,096	620,007
新株予約権	5,063	9,403
純資産合計	510,159	629,410
負債純資産合計	2,710,487	2,735,083

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,009,401	2,424,155
売上原価	1,037,919	1,219,067
売上総利益	971,482	1,205,088
販売費及び一般管理費	※ 940,259	※ 1,080,808
営業利益	31,222	124,279
営業外収益		
受取利息	6	132
雑収入	1,499	2
営業外収益合計	1,505	134
営業外費用		
支払利息	9,468	9,470
営業外費用合計	9,468	9,470
経常利益	23,259	114,944
税引前中間純利益	23,259	114,944
法人税等	265	285
中間純利益	22,993	114,659

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	23,259	114,944
減価償却費	267,461	241,208
レンタル用資産売却等に伴う原価振替額	101,057	162,491
貸倒引当金の増減額（△は減少）	167	237
契約負債の増減額（△は減少）	805	△4,281
受取利息	△6	△132
支払利息	9,468	9,470
売上債権の増減額（△は増加）	△7,239	△170
棚卸資産の増減額（△は増加）	△12,276	△13,152
仕入債務の増減額（△は減少）	1,922	16,938
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,407	△27,911
未払金の増減額（△は減少）	△23,037	△17,198
前受金の増減額（△は減少）	2,992	32,402
その他	29,402	25,180
小計	389,569	540,025
利息の受取額	6	132
利息の支払額	△9,468	△9,470
法人税等の支払額	△530	△550
営業活動によるキャッシュ・フロー	379,576	530,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△492,344	△751,209
関係会社株式の取得による支出	—	△28,533
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,000
敷金及び保証金の回収による収入	2,374	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489,970	△780,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	376	251
短期借入金の純増減額（△は減少）	64,866	△122,322
長期借入金の返済による支出	△6,665	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,578	△122,071
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△51,814	△372,675
現金及び現金同等物の期首残高	1,251,797	1,454,526
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,199,982	※ 1,081,850

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

当社が保有するレンタル用資産は、従来、耐用年数を18ヵ月として減価償却を行ってきましたが、レンタル用資産の利用期間実績が伸長していることを踏まえ、当中間会計期間より、耐用年数を24ヵ月に見直し、将来にわたり変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当中間会計期間の営業利益、経常利益及び税引前中間純利益はそれぞれ76,708千円増加しております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

※ 当座貸越契約及び貸出コミットメント契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	350,000千円	350,000千円
借入実行残高	150,000	150,000
差引額	200,000	200,000

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
給料及び手当	165,980千円	173,022千円
広告宣伝費	319,681	361,009
支払手数料	191,926	220,062

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
現金及び預金勘定	1,399,982千円	1,081,850千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△200,000	-
現金及び現金同等物	1,199,982	1,081,850

（重要な後発事象）

該当事項はありません。